

「HUPO 6th Annual World Congress, Seoul 2007」に参加しました。

2007年10月6日(土)から10月10日(火)まで、韓国ソウル市において「HUPO (The Human Proteome Organization) 6th Annual World Congress」が開催され、PSSも出展参加いたしました。

PSSブースでは、新開発の「Magtration System APT12」を展示し、参加者の注目を集めました。

「Magtration System APT12」は磁性体粒子を用いた核酸抽出のアプリケーションに加え、Seppro® Tip を利用し、2次元電気泳動・質量分析用に血しょうなどから主要タンパク質を除去する工程を自動化した装置です。今回の展示では質量分析を手がけておられる世界中の研究者の方へアピールすることが出来ました。

今後 PSS としては、バイオマーカー探索の研究者や質量分析装置メーカーなどとの共同開発を通して、優良なデータを得ることと共に様々なサンプルからの処理(アプリケーション)を充実させてタンパク質前処理での世界標準システムを目指します。

